

## 横浜市と山崎製パン株式会社のコラボレーション商品発売 ～横浜市とゆかりの深いドイツの味をお届け！～

横浜市は、平成9(1997)年にドイツ・フランクフルト市に横浜市欧州事務所を開設後、平成23(2011)年には同市とパートナー都市協定を結び、様々な分野での交流を進めてまいりました。

また、山崎製パン株式会社横浜第二工場では、横浜市の魅力をアピールすることを目的に、横浜にちなんだ商品をこれまで企画開発しています。

このたび、山崎製パン株式会社横浜第二工場では、横浜市とゆかりの深い国であるドイツにちなんだ商品を開発し、令和5年11月1日(水)から、「ランチパック(ドイツ風ビーフシチューと粒マスタード入りポテトサラダ)」を発売します。

「ランチパック」のパッケージには、フランクフルト市で運行している、横浜市とフランクフルト市の景観をラッピングした電車の写真も掲載しています。

ぜひ、横浜市にある山崎製パン株式会社横浜第二工場が、ドイツの家庭料理と、横浜とドイツの友好をイメージして作った「ランチパック」をお楽しみください。

### ■ 商品名

ランチパック(ドイツ風ビーフシチューと粒マスタード入りポテトサラダ)

### ■ 商品特徴

ドイツの家庭料理であるグラーシュ(ドイツ風ビーフシチュー)をイメージしたフィリングをサンドしたランチパックと、マスタードやピクルスを入れたポテトサラダをサンドしたランチパックの、2種類のアソートランチパックです。

### ■ 販売期間

令和5年11月1日(水)から令和5年12月31日(日)まで(予定)

### ■ 販売場所

関東を中心としたスーパー、コンビニエンスストア等の山崎製パン製品お取り扱い店で販売されます。



裏面あり

## 【参考】

### 日本とドイツの交流

日本とドイツは、1861年1月24日に江戸で、日本と当時のプロイセンが修好通商条約を調印して交流を開始した。

令和3(2021)年、この条約の調印から160周年を迎えたことを記念し、本年を「日独交流160周年」として、日独間の相互理解と連携を更に深めるため様々な交流が実施された。

### 横浜市とフランクフルト市との交流

#### ■ フランクフルト市概要

正式名称はフランクフルト・アム・マイン市。ドイツ西部にあり、ライン川支流のマイン川流域に位置。世界有数のハブ空港を抱えると共に、欧州有数の金融都市。人口約75万人、面積248.3km<sup>2</sup>。

#### ■ 交流概要

平成23(2011)年にパートナー都市協定を締結。主に経済、脱炭素、文化芸術、市民社会の交流、次世代の育成の交流を進めてきた。令和5(2023)年7月には、山中竹春横浜市長がフランクフルト市を訪問し、「GREEN×EXPO 2027」の成功に向けた相互協力等の新たな分野を追加した。

横浜市欧州事務所では、同市において、両市間の都市間交流のほか、横浜企業支援、高校生による姉妹校交流、現地での横浜PRなどを行っている。

### お問合せ先

(横浜市とフランクフルト市の交流、欧州事務所に関すること)

国際局国際連携課欧州米州担当課長

川島 とも子 Tel 045-671-4721

(商品に関すること)

山崎製パン株式会社

お客様相談室

Tel 0120-811-114